

報道各社 御中

令和2年12月27日  
大阪体育大学広報室

## 大体大ハンド部女子 日本選手権2年連続準優勝 1986年以来の大学勢Vは持ち越し

第72回日本ハンドボール選手権大会（女子の部）は12月27日、金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで決勝が行われ、大阪体育大学ハンドボール部女子は、前回の覇者で大体大卒業生が主力の北國銀行と対戦。23-30（前半12-15、後半11-15）で敗れましたが、2年連続の準優勝となりました。

大体大は昨年も学生として33年ぶりに決勝に進み北國銀行と対戦、27-29で敗れていました。また、日本選手権での大学勢の優勝は男女を通じて1986年の東京女子体育大学が最後で、34年ぶりの大学勢優勝を目指しましたが、来年以降に持ち越しとなりました。

今季は、前人未だの8連覇を目指した全日本学生選手権（インカレ）など公式戦がすべて中止に。コロナ禍による練習の自粛期間中はバイオメカニクス、心理学、栄養学などの科学的サポートに基づいたトレーニングに取り組んできました。

（写真は中山佳穂選手）

### <楠本繁生監督の話>

今年1年はコロナの影響で、クラブ活動ができず1人自宅でトレーニングしなくてはならない期間があったり、公式戦が次々に無くなって目標を見失うこともあった。日本選手権も短い期間の調整で臨んだ。そんな中、選手たちが大きなケガもなくベストメンバーが揃って試合に出場し、終わることができたのには感謝したい。決勝戦はもっとチャレンジングなプレーをしてほしかったが、疲労がたまっているのも影響していたのだろう。3年生以下は、4年生が戦ったこの5試合を目に焼き付け、また日本選手権に出場できるように今日からスタートのつもりで頑張ってもらいたい。

### 【大阪体育大学ハンドボール部女子】

1967年創部。京都・洛北高校でインターハイ4連覇を達成した楠本繁生体育学部教授が2010年、監督に就任。2013年から昨年まで全日本インカレ7連覇を達成しました。北國銀行を始め実業団の強豪で多数の卒業生がプレーし、日本代表の約3分の1が卒業生。4年の中山佳穂選手は2019年の世界選手権で学生として唯一、日本代表に選ばれました。部長は小林博隆体育学部教授。また、下河内洋平教授（スポーツ医学、臨床バイオメカニクス）がトレーニングコーチとしてフィジカルトレーニングの指導を行うなど幅広い分野で科学的サポートを受けているのも特徴。

### <ご参考>

本学HPニュース <https://www.ouhs.jp/news/2020-12-27-16242/>  
DASHプロジェクトセミナー（コロナ禍のトレーニングで得られた知見）  
<https://www.ouhs.jp/news/2020-11-18-15615/>  
コロナ自粛時の楠本監督インタビュー  
<https://www.ouhs.jp/wp/wp-content/uploads/200416kusumotorelease.pdf>

※本学HPもご参照ください。写真データを希望される場合は下記までご連絡ください。

【大阪体育大学広報室】

大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1 担当・大坪 [koho.users@ouhs.ac.jp](mailto:koho.users@ouhs.ac.jp)

